

第6回津島市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 議事概要

令和3年2月1日（月）

午後2時00分から3時00分まで

津島市役所 5階第1委員会室

出席委員：伊藤委員長、平野副委員長、永縄委員、大鹿委員、片岡委員、
浅井委員、瀧田委員、三輪委員、日比委員、石原委員、
服部委員、森口委員、沖委員

欠席委員：山本委員、岩瀬委員

傍聴人：6名

<次第>

- (1) 津島市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）について
- (2) 保険料の設定について
- (3) その他

<会議録>

- (1) 津島市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）について
事務局より資料1、2の説明

- 委員：P28に掲載されている地図は少し雑なので、わかりやすい地図を掲載してほしい。資料2のP39は、P38の誤表記ではないかと思う。
- 事務局：資料2のP39は誤表記です。申し訳ございません。
- 委員：P80にも地図を入れたほうがわかりやすいと思う。
- 事務局：検討いたします。
- 委員：全体的にカタカナ語が多いので、高齢者にはわかりにくい部分があるのではないかと思う。例えば、P44の施策の方向にマッチングという言葉が使われていたりしている。横文字苦手な高齢者が多いので、他の言葉で表現できるものは、カタカナ語をできるだけ用いない形にしてほしい。
- 事務局：用語解説で説明しているが、わかりにくいものもあるので検討させていただく。ただ、ケアプランやマネジメントのように元々カタカナで用いられている用語については、用語解説の中で説明して用いていきたい。
- 委員：介護予防についてお聞きしたい。国は介護予防に力を入れており、これに該当する部分がP40から記載されている介護予防普及啓発事業などだと思う。長寿教室について記載されているが、

参加延べ人数の見込みが近年の実績よりも少ない数値になっている。どのような見解でこうした計画数値にしているのか確認させてほしい。

事務局：コロナ対策を踏まえ、定員を減らして開催する考えで、こうした計画としている。

委員：基本的にフレイル対策についてどのように認識されているのか聞かせてほしい。

事務局：フレイル対策は、今たいへん注目されている。介護予防との関連もあることながら、フレイルという言葉はまだまだ認識されていない言葉だと思う。健康づくりとも関連深いので、一体的に進めていきたいと考えている。健康増進とも関連しているので、3課が一体となって進めていく考えを持っている。

委員：対策を早くしてほしいし、他自治体を参考に進めてほしい。フレイルという言葉が認識されていないのであれば、しっかり普及させてほしい。

事務局：言葉の周知ができていないので、進めさせていただきたい。3課での取組ではポピュレーションアプローチとして、広く健康増進や介護予防を進めていくので、その中でもフレイルということばを周知していきたいと思う。

委員：3課が一体となってということなので、定期的に会議して進めていってほしい。

委員：今、ご指摘を受けて、たしかに長寿教室の数が少ないと思う。定員を減らしたとしても、回数を増やすなど、そういうことも考えてほしい。

事務局：委託先とも話をして検討していきたい。

(2) 保険料の設定について

○事務局より資料3-1から3-3の説明

委員：資料3-1のP2で、保険料低下の要因として準備基金からの取り崩しが427百万円と説明されていた。第7期の場合は250百万円ほどであり取り崩し額が177百万円ほど増えている。前期よりも取り崩し額が多くなっているが、残額はどのくらいになる見込みなのか。

事務局：今年度末の決算見込みを勘案し、約5千万円が残る見込みとしている。

委員：想定以上にかかったときには準備基金から支出することになると思うが、5千万円でも足りない状況になった時にはどうなるのか。

事務局：その場合には、財政安定化基金から借り入れる形となる。

- 委員：第6期から第7期の時には保険料額が増額されたが、今回は取崩して据え置きとした判断には、どのような理由があるのか。
- 事務局：第7期の時は、準備基金の3億円から5千万を残す額を取崩す設定で算定した。今回も5千万円を残す形で算定した。
- 委員：予定保険料収納率が99.10%となっているが、この根拠は何か。
- 事務局：前回の資料では99.30%としていましたが、平成29年度からの3か年の平均値を根拠として99.10%とした。
- 委員：今回の改定では、所得400万円くらいの世帯の負担が大きいと思うが、もっと高所得者の負担を増やす考えはないのか。
- 事務局：高所得者である第15段階以上は、該当する人数が少ないので、合計所得が360万円以上の第13段階以上の率を高くする形で設定させていただいた。
- 委員：介護報酬がコロナの関係で0.7%増ということだが、報道では、4月から9月までの全サービスの基本的な報酬を0.1%増やすという記事がある。これも含んだ積算になっているのか。
- 事務局：報酬改定による増額分0.7%のうち0.05%が新型コロナウイルス感染症対策の増額分となっている。
- 委員：では、0.7%の中に上乗せ分も含まれているということですね。
- 事務局：そのとおりです。
- 委員：収納率の話があったが、口座振替率は何%か。
- 事務局：令和元年度の数値ですが、口座振替率は43.2%です。
- 委員：第7期の振り替え率がわかれば教えてほしい。
- 事務局：平成29年度は37.4%、平成30年度は36.5%となっています。
- 委員：保険料収納率が99.1%と若干下がったとのことだが、口座振替率を上げるという施策は考えられないのか。
- 事務局：口座振替率が上がらないのは、市としても苦慮しているところである。特別徴収の方は年金から徴収されるが、年額18万円以下の方の場合は普通徴収として納付書を送付する形になっている。この方々の口座振替率が先ほどお伝えした数値である。議会でもそうした話があるので、窓口や郵送でのご案内の際には口座振替のご案内をさせていただいている。また、少し話は違うが、来年度からはコンビニ収納も開始していく。
- 委員：口座振替については、ペイジーもあるので、そちらも活用して、無理のない収納活動をしていただきたいと思う。
- 委員：所得段階は、65歳未満の方のことか。
- 事務局：こちらは65歳以上の方のことです。
- 委員：第2号被保険者の人の話は、ここにはないのですね。
- 事務局：第2号については社会保険に納付するしくみになっている。市が計画で定めるのは第1号被保険者である65歳以上の方の保険料となります。
- 委員：資料3-1の総給付費は、集まる金額ですね。

- 事務局 : こちらは各サービスにかかる費用です。保険料額を集めた額の合計はP2に記載した「保険料収納必要額」です。
- 委員 : であれば、予想額を記載したらいいのではないか。トータルで記載してわかるようにしてほしい。
- 事務局 : 今後はそうしたことも記載して議論しやすいようにしたいと思う。
- 委員 : 最終的に考えるのは支出金額なので、そうした示し方をしているただかかないと議論できないと思う。
- 事務局 : ご指摘いただいたとおりに給付費の増加が保険料の増につながる。必要な方には安心して使っていただけるようにしていく考えです。しかし、一方で介護予防にも力を入れて進めていきたいと考えている。
- 委員 : 予防の話とはミックスしないで話してほしい。そうしないと話が混乱すると思う。

(3) その他

- 委員 : P7に、高所得者に対して引き上げたと記載されているが、第6段階を下げたことも記載したらどうか。
- 事務局 : 2行目に記載させていただいている。
- 委員 : 負担を下げたことを強調したほうがいいと思う。
- 事務局 : いただいた意見を参考に検討させていただきたい。
- 事務局 : 今回いただいたご意見を踏まえ、最終校正の確認は委員長に一任していただければと考えている。
- 委員長 : 最終校正について委員長一任としたいという話があったが、これについて異議はありませんか。
(異議なし)
- 委員長 : ありがとうございます。それでは本計画案を委員会として承認し、市長に答申してよろしいでしょうか。
(異議なし)
- 委員長 : ありがとうございます。